

令和7年2月

令和6年度 「学校評価（生活）アンケート」集計結果のまとめ

調布市立第二小学校

校長 安藤 力也

保護者・地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和6年12月に保護者及び児童対象に実施した「令和6年度学校評価（生活）アンケート」へのご回答へのご協力をいただき、ありがとうございました。今年度から学校運営協議会制度が導入されたことを受け、学校運営協議会委員の皆様とともにアンケート質問項目等の見直しを図り、アンケートを実施いたしました。自由記述の内容を含め、貴重なご意見として真摯に受け止めるとともに、保護者・児童ともにすべての項目におけるC及びD回答の数値を見逃さず、学校経営方針の柱である「自他尊重の精神」の涵養をめざしながら、学校運営・教育活動のさらなる改善に努めてまいります。

なお、「令和6年度学校評価（生活）アンケート」集計結果グラフ（保護者・児童）は別紙にて、それぞれ本校ホームページに掲載されております。また、今後、学校運営協議会委員の皆様のご意見や評価を踏まえ、「令和6年度調布市立第二小学校学校評価報告書」のまとめを行い、今年度末までに本校ホームページにて報告いたします。併せましてご覧くださいますようよろしくお願いいたします。

【「学校評価アンケート」（保護者）集計結果考察】

○対象：児童数（469名）・家庭数（387家庭） 対象の保護者へのアンケート

【回答率：児童数比：68.4%（昨年度56.6%）・家庭数比：82.9%】

A：とてもそう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：よく分からない

昨年度に引き続き児童用タブレット端末を活用して児童ごとにご回答いただく形でアンケートを実施しました。「すぐーる」の配信及び学校ホームページによる回答への協力依頼を行ったことから、昨年度に比べ、回答率は向上いたしました。さらなる回答率の向上に向けた工夫等の検討を継続してまいります。

1 「学校は、子どもによく分かる授業の工夫を行っている。」

肯定的評価A+B回答：88%です。

子どもたちにとって、学校生活における大部分の時間を授業として過ごします。子どもたちが日々の学習や授業の中で「わかった」「できた」と実感することは、学ぶ楽しさを味わうこと、ひいては学校生活が楽しいと感じることにつながります。そのために、私たち教員は、これからも学習指導要領が目指す『主体的、対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善、効果的なICT機器の利活用、基礎・基本的な学習内容の定着を図るための個に応じた指導の工夫等、子どもたちによく分かる授業づくりに向けて努めてまいります。

2 「学校は、ICT 機器の活用や子ども同士の学び合いを推進するなど、子どもの主体的な学びの実現に向けた授業づくりを進めている。」

肯定的評価 A+B 回答：91%です。

本校では今年度より「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図るために、「自分の『問い』をもち、対話を通して学ぶ児童」を研究主題に据えて校内研究を進めています。保護者の皆様には、子どもたちの日々の姿や授業公開の機会等を通して、その成果の一端を感じていただけていたらとてもうれしく思います。これからも、ICT 機器の効果的な活用、協働的な学びの推進を図りながら、多様な考えや価値観を認め合い、主体的・探究的・協働的に学ぶ児童の育成に向けて、さらなる授業改善に努めてまいります。

3 「学校は、日々の学習や「あゆみ」で適切な評価をし、子どもが意欲的に取り組む工夫をしている。」

肯定的評価 A+B 回答：85%です。

子どもたち一人ひとりの努力の過程や成果、成長の様子等をしっかりと見取り、価値付けながら、次の目標に向けて、前向きに学習や学校生活に取り組めるよう、評価の工夫を継続します。C+D 回答10%であることを真摯に受け止め、適正な評価の一層の推進に努めます。

4 「子どもは、友だちと楽しく学校生活を送っている。」

肯定的評価 A+B 回答：93%です。

学校運営協議会委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、昨年度質問項目に「友だちと」の言葉を加えました。多くの仲間、友だちとのかかわりの中で、学校生活が楽しく、安心できる居場所であること、そして毎日笑顔で過ごすことができることは私たちの変わらぬ願いです。次年度、記念すべき開校80周年を迎える「心のふるさと＝第二小学校」での生活が子どもたちにとってかけがえのない宝物となるよう、今後も改善に向けて努力を重ねてまいります。

5 「学校は、子どもが「時間を守る」「目と心で話を聴く」等、基本的な生活習慣を身に付けられるように適切な指導を行っている。」

肯定的評価 A+B 回答：87%です。

約束やルールをただ守らせるのではなく、子どもたちが学校生活を安心して送るために、なぜきまりやルールが必要なのか、なぜきまりを守ることが必要なのかを理解し、自分事として捉えながら規範意識を高めていくことができるよう工夫して指導を継続してまいります。

6 「子どもは、すすんであいさつをしている。」

肯定的評価 A+B 回答：77%です。

あいさつの励行については重点的に取り組んでおりますが、その成果が学校生活以外の場面でまだ十分に生かされていないことがうかがえました。学校で取り組むその成果が地域やご家庭でも発揮できるよう、引き続き、協力・連携を進めながら指導や取組の工夫をしてまいります。

7 「学校は、体育授業の充実や各種の体育学習、校庭芝生の利活用等、子どもの体力向上に努めている。」

肯定的評価 A+B 回答：91%です。

昨年度まで3年間にわたって進めてきた校内研究（研究主題：「自分も友達も大切にし、主体的・協働的な学びを実現していく体育学習」）により、児童が運動の特性に触れる楽しさや身体を動かす心地よさを味わうことができるよう、体育授業の充実を図ってきました。一方で東京都統一体力テスト調査結果では、昨年度同様、ほとんどの学年で男女ともに体力合計点が全国・東京都の平均値を下回っている現状が続いています。今後も本校の特色である校庭芝生を有効に活かしながら、体育授業や体育的活動の充実を図り、児童が運動の楽しさを味わい、主体的に運動に取り組めるようにするとともに、家庭や地域と連携した運動の日常化につなげていけるよう工夫してまいります。

8 「学校は、学校図書館の活性化を図り、青葉週間や紅葉週間等、読書活動を推進している。」

肯定的評価 A+B 回答：97%です。

今後も教員と学校図書司書とが連携し、学校図書館の利活用の推進、蔵書の充実、図書委員会活動の充実、読書週間やブックメニュー等、本に親しむ環境づくりや取組の充実を図ってまいります。

9 「学校は、交通安全や不審者対応・災害時対応等、安全指導の充実に努めている。」

肯定的評価 A+B 回答：90%です。

毎週1回、安全指導夕会を行い、職員が共通認識をもち、子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるよう安全指導の徹底を継続しています。また、調布警察署やと連携した不審者侵入対応研修会や対応訓練の実施、階段転落防止ネットの新設、校庭芝生や樹木の維持管理、登下校時間帯以外の門扉閉の徹底、施設管理補助員のトランシーバー常時携帯、「すぐーる」を活用した児童の安全にかかわる迅速な情報提供等、安全性を高めるための対応や施設改善を図っています。引き続き、児童の安心・安全を最優先に考えながら教育活動、対応や施設の改善を進めてまいります。

10 「学校は、保健・給食その他の活動を通して、健康づくり・健康教育に努力している。」

肯定的評価 A+B 回答：95%です。

引き続き、感染症拡大防止に向けた取組や保健指導や食育の充実を図りながら、子どもたちが安心・安全に生活できるよう健康づくり・健康教育に努力してまいります。

11 「学校は、運動会や学習発表会等の行事の充実を図り、子どもたちが目標をもって生活し、成長につながるよう取り組んでいる。」

肯定的評価 A+B 回答：99%です。

本校では、キャリア・パスポート等を活用し、子どもたちが学期や行事ごとに活動の目標を明確にもち、その達成に向けて努力を積み重ねるプロセスを大切にしながら教育活動を進めています。行事を通して達成感を味わうことで自己の生き方を考え、深めるとともに自己実現を図ろうとする態度を養うことができるよう、これからも、運動会や学習発表会、移動教室を

はじめとする学校行事が子どもたちの成長につながるよう大切にしていまいります。

12「学校は、体験的な学びの充実やたてわり活動、ふれあい月間の子どもたちの主体的な活動等を通して、豊かな心の育成に努めている。」

肯定的評価 A+B 回答：97%です。

本校では、特色ある教育活動の一つとして異学年交流「たてわり班活動」を通して、多様な個性を認め合い、寛容に関わる気持ちや思いやりの心の育成を図っています。また、生きた知識や豊かな情操を育むために「本物との出会い」を大切に考え、外部人材の活用や交流学习等の体験的な活動の充実を図ってきました。また、ふれあい月間には「人権集会」「あいさつの励行」「いじめの防止」「安心安全な学校生活」等をテーマにした標語やポスター作りなどの児童の主体的な取組を進めています。これらと併せて地域やご家庭のご理解とご協力により、二小の子どもたちのやさしさや思いやりあふれるすてきな姿につながっていると感じています。それぞれの取組を今後も大切にしながら継続してまいります。

13「学校は、地域と連携し、地域とともに教育活動を推進している。」

肯定的評価 A+B 回答：84%です。

体験的な学びの推進に向けては、地域の皆様にお力添えいただき実施している活動は多くあります。また、健全育成推進第二地区委員会をはじめとする地域関係団体の皆様のお力添えにより、第二小の子どもたちのために地域行事や様々な体験活動を実施していただいております。大変感謝しております。一方で、D回答（わからない）が14%であったことを受け、今後は活動の様子などをより周知していけるような工夫が必要と考えております。なお、令和7年度中の第二小学校地区協議会発足に向けた準備が進んでおり、第二小学校区内における地域の結びつきや新たな絆づくりがより深まっていくことと期待しております。開校80周年を迎える記念すべき令和7年度、今後とも「地域とともに子どもを育てる」教育の推進に向けて、地域関係の皆様にはお力添えをよろしくお願いいたします。

14「学校は、授業参観や学校行事、学校だよりや学級だより、ホームページ、すぐる等を通じて、学校や子どもの様子等を分かりやすく伝えている機会を設けている。」

肯定的評価 A+B 回答：88%です。

授業公開や学校行事については、実施方法を工夫し、保護者の皆様にご理解とご協力をいただきながら、保護者・地域の皆様に子どもたちの学校生活の様子をご覧いただく機会を計画してまいりました。また、学校ホームページの更新に向けて、主に「学校生活の様子」について更新・配信したり、すぐるを活用した迅速な情報提供に努めたりしてまいりました。次年度は1学期中の授業公開日の設定、配布文書の一部ペーパーレス化について検討し準備を進めております。今後も子どもたちの学びの成果や生き生きと活躍する姿をご覧いただけるよう機会や情報提供について工夫しながら進めてまいります。

【「学校生活アンケート」(児童) 集計結果考察】

○対象：全児童（469名）へのアンケート

A：とてもそう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

今年度も全児童を対象にした学校生活を振り返るアンケートを児童用タブレット端末を活用して実施いたしました。子どもたちの現況や思いを受け止め、今後の学校運営の改善に生かしてまいります。

<学習について>

- ・ 1 「学校の授業がよくわかる。」：肯定的評価 A+B 回答：95%
- ・ 2 「学習ではタブレット端末を使い、自分が知りたいと思うことを学んでいる」：肯定的評価 A+B 回答：86%
- ・ 3 「授業中、自分の考えや友だちの考えをすすんで伝え合っている。」
：肯定的評価 A+B 回答：84%

保護者アンケート考察でも触れたように、本校では今年度より「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図るために、「自分の『問い』をもち、対話を通して学ぶ児童」を研究主題に据えて校内研究を進めています。その成果が、ICT 機器の利活用の推進や子ども同士の学び合いの様子や意識の向上から少しずつ見られますが、十分とは言えません。今後も、子どもが中心となり、子どもたち同士が学び合う授業づくり（対話的な学び・協働的な学び）の実現に向けて、子どもたち同士が主体的に学び合いながら、楽しく、そして、よくわかる授業づくりを目指してまいります。

<生活について>

- ・ 4 「学校では、楽しく生活している。」：肯定的評価 A+B 回答：94%
- ・ 5 「学校のきまりを守って生活している。」：肯定的評価 A+B 回答：90%
- ・ 6 「先生や友達に、自分からすすんであいさつをしている。」：肯定的評価 A+B 回答：85%
多くの子どもたちが学校生活を楽しいと感じていることは喜ばしいことですが、C+D 回答：6%の児童がいることを見過ごすことなく、すべての子どもたちにとって学校生活が安全・安心で楽しく感じられるよう、見守ってまいります。
- ・ 7 「すすんで体を動かしたり、運動をしたりしている。」：肯定的評価 A+B 回答：80%
- ・ 8 「すすんで読書をしている。」：肯定的評価 A+B 回答：75%

どちらも他の質問項目に比較して低い数値となっています。引き続き、運動量を確保し、運動の特性に触れる楽しさや喜びを味わうことができる体育授業の充実を第一の考えながら、校庭全面芝生の特色を生かし、家庭や地域とも連携をした運動の日常化につなげる体育的活動の工夫などに取り組んでまいります。

また、図書館教育の充実については、教科等の学習と関連付けた学校図書館の利活用の推進や蔵書のさらなる充実の他に、委員会活動と関連付けた読書週間やブックメニュー等の児童が主体となった本に親しむ取組の充実や環境づくり等について進めてまいります。

- ・ 9 「健康や安全に気を付けて生活している。」：肯定的評価 A+B 回答：87%

新型コロナウイルスが五類に移行したものの、季節を問わず、スポット的に感染症が流行する状況があります。保健指導や日常的な生活指導においては、これからも子どもたちの健康と安全を最優先に考えながら教育活動を進めるとともに、子どもたちが自らの健康や安全に関心を持ち、維持に努めることができるよう指導を進めてまいります。

<豊かな心の育成>

- ・ 10 「運動会や学習発表会等, 行事では, めあてをもって取り組んでいる。」：肯定的評価 A+B 回答：89%
- ・ 11 「友達や下級生にやさしく接している。」：肯定的評価 A+B 回答：95%
- ・ 12 「係や当番, 委員会活動に積極的に取り組んでいる。」：肯定的評価 A+B 回答：90%

本校では今年度「豊かな心の育成」を今年度の最重点目標として教育活動を進めてきました。特色ある教育活動の一つである異学年交流「たて割り班活動」の取組を大切にするとともに、各行事では子どもたち一人ひとりが明確な目標を持ち、努力を積み重ねるプロセスを大切にしながら達成感を味わい成長することができるよう、これからも取り組んでまいります。